

令和8年度 箱根町予算・政策に関する要望について（回答）

1. 工芸技術所の更なる機能強化と展示室の受け入れ態勢強化の県への働きかけについて

【回答】

本町においても、箱根寄木細工は重要な伝統的工芸品であることから、工芸技術所の更なる機能強化並びに、その保管及び展示を行う体制を強化していただくことは重要であると認識していることから、県への要望等働きかけを行ってまいります。

2. 伊豆湘南道路の早期具現化等について

【回答】

伊豆湘南道路については、新たな広域道路ネットワークとして、富士箱根伊豆エリアの周遊性の向上による広域観光への寄与や、災害時の防災力の向上が期待されております。当町は令和6年度から伊豆湘南道路建設促進期成同盟会の正会員となり、要望活動等へ参加することで当該道路の実現に向けた取組みを進めております。

今後につきましては、引き続き伊豆湘南道路の実現に向けて国・県等への働きかけを行ってまいりたいと考えております。

3. 足柄幹線林道のハード面の整備及び冬期閉鎖期間の短縮について

【回答】

足柄幹線林道は、林業活動に利用される林業振興型と生活用等として市町村道的役割を担う地域振興型両方の役割を兼ね備えた併用型林道であり、生活道路としても重要な役割を担っていると考えております。

冬期の閉鎖期間につきましては、従前は12月下旬から3月末とされていましたが、神奈川県への働きかけの結果、県は沿線での各種調査を行いその結果を踏まえて、令和6年度以降は成人の日から2月末までに短縮されました。冬期閉鎖は路面の凍結や積雪による事故防止の他、当該期間に整備や補修を行うことも目的とされておりますが、一定期間の閉鎖ではなく、路面凍結が見込まれる際にのみゲート閉鎖を行う等の対応について、引き続き神奈川県へ働きかけを行ってまいります。

また、町民や観光客といった誰もが通年、一般交通可能な道路としての位置付けにつきましても、引き続き神奈川県へ働きかけを行ってまいります。

4. 公共工事に係る地元業者受注機会の確保及び地元業者育成について

【回答】

地元業者で施工可能な工事等については、地元業者へ優先的に発注していますので、今後も継続して取り組みます。

また、地元業者育成については、令和6年度から土木工事、令和8年度から建築工

事の一部において、週休２日制確保モデル工事の実施を予定しており、担い手の育成・確保に寄与していきたいと考えています。

5. 事業用等EV導入費補助金の創設について

【回答】

2050年脱炭素社会の実現に向けて、当町では町民向けの再生可能エネルギー設備導入費補助金の制度を設けていますが、事業用等EV導入費補助の制度は設けていません。

事業者用EV導入費に対する補助制度の創設については、今後のEVの普及状況、国や県、他市町における補助の動向なども勘案しながら、検討を行ってまいりたいと考えております。

6. 宿泊税導入に係る進め方について

【回答】

宿泊税の制度内容の検討にあたっては、箱根町観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議による検討以外にも、新たに宿泊税の特別徴収義務者となる宿泊事業者を中心とした専門部会を設置し、課税要件の一部や特別徴収事務の負担軽減策について調査審議を行っていただきました。また、昨年11月から12月にかけて、制度内容に関して広く意見等を把握するため、宿泊事業者、観光客及び町民を対象としたアンケート調査を実施するとともに、現時点での検討状況を説明するため、町内5地域で説明会を開催いたしました。

今後についても、本町が観光地として一層発展、成長するため、観光と暮らしを車の両輪のように捉えて、両者が相互に好影響をもたらすような施策を推進するための財源となるように、検討会議をはじめ、町民や事業者の皆さまのご意見にしっかりと耳を傾けながら、丁寧に議論を重ねていきたいと考えています。